



○ まご

私事ですが、夏休みということで孫が帰省してきました。1歳4か月です。先日授業の中で同じくらいの年齢の子どもの映像が流れていました。私の頭の中では完璧に重なりました。かわいいけれど親は大変ですね。申し訳ないけれど、孫はちょっと楽です。

今はいろいろなことが30年前よりも進化しています。この孫とは同居していませんが、定期的に娘から映像が送られてきます。そのため、私たちはいつも見守っているようなつもりになっていますが、“当人”は私の映像を見ていません。人見知りな感じの子だったので、心配しながら新岩国駅に迎えに行き再会しました。その時の状態は以前と同じでしたが、このたびはかなり短い時間で“家族”であると認知してくれたようです。お試し保育に行ったり、近所の親子とも積極的にかかわっているようで、社会性が伸びてきているように感じました。

もう一人4か月目の孫もいます。学校の赤ちゃんメダカもどんどん成長していますが、この子も顔さえどんどん変わっていくのが分かります。命とは不思議(神秘)ですごいものだとつくづく思いますね。

右上の挿絵ですが、昔は実際にこんなことをして我が子と遊んでいました。娘は緊張して棒のように硬直しながらも顔は楽しんでいました。少し危険なので、他人の子だったらできないかもしれませんね。私も若かったので体力は今よりもだいぶありました。今はぎっくり腰の恐怖と闘いながら過ごしているので、孫にはしない方がいいでしょうね。

○ 自画自賛Ⅱ

自分で自分をほめることはあまりしない方がよいと思いますが、4か月で「KOCHO だより」が⑤号に達しましたので自賛したいと思います。前々任校から続けて今年5年目です。白状しますとかつての原稿を再利用した回もときどきあります。そのおかげの⑤号でもあります。再利用ができるということで分かることは、教育の本質はどんな校種でもあまり変わらないということです。微力ながら何らかの役に立てたらなと願いつつ、これからも細々と続けて発行していきたいと思っています。

↓これまでの挿絵



ここにないものは、かつての KOCHO だよりで一度使ったものです。